活動名

YouTube を利用した学習支援

2 対 象

・小学部,中学部,高等部,専攻科の児童生徒

3 内容と取組の様子

- ・教員が学習支援のための動画を作成し、メール配信システムにより該当クラスに動画の URL を送付した。
- ・限定公開とし、メールのリンクからのみ閲覧できる形式とした。動画のダウンロードについてはできない形式とし、URLを送付する際にも毎回注意事項も付記して送付した。
- ・内容については公開前に管理職がすべての動画を確認し、調整したうえで公開された。
- ・対象児童生徒が自宅で視聴し,家庭での学習の一助とした。再生回数から何度も繰り返し視聴している様子も見られた。
- ・各教科の学習支援を始め、体育科による自宅内でできる体つくり運動や専攻科の実習の復習動画、 保健だよりなど合わせて90本程度の動画が作成された(下欄左図)。







4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等

· iPad · iMovie · KeyNote

5 おすすめポイント

- ・課題等の郵送や、電話での学習支援等も行っていたが、YouTube での学習支援を開始してから動画によって具体の画像を例示したり、イメージを伝えやすくなったりすることで、児童生徒からは概ね好評だった。
- ・プリントの該当部分を定規で示し解説するなど (上欄右図),大がかりな準備を要せず普段の授業に近い形で教材を提示することで、作成の負担を減らしながら効果的な動画を作成することができた。
- ・最初は、教員がカメラに向かって話したり説明したりするといった簡単な形式で作成していたが、 何本も作成するうちに徐々に編集して字幕をつけたり、解説にプレゼンテーションソフトを活用し たりと作成者がイメージした内容を盛り込めるようになり、効果的な動画が増えていった。

6 さらに工夫したいこと

- ·今後の状況次第で再度の臨時休業が起こった際や,夏季や冬期の休業期間中にも活用できるように, 作成者や児童生徒の感想や反省,要望事項を共有したい。
- ・動画の作成スキルを向上させるために,教員間で作成に関するアプリやソフトの使い方に関する研修会や情報を共有する機会を設けていきたい。